

科目名	芸術（美術）Ⅰ Art (Fine Arts) I			担当教員	永井 崇幸 (窓口教員：坂本具償)		
学年	1年	学期	通年	履修条件	必修	単位数	1
分野	一般	授業形式	実技	科目番号	15120011	単位区分	履修単位
学習目標	写実描写、構想画、デザイン画などの絵画表現や鑑賞を通して、創造力を伸ばし、豊かな感性と心情を養う。言葉では表現できないことを感じる美意識を深める。						
進め方	相対するイメージを比較することでその本質を見定め、イメージを膨らませて自己の表現を追求させる。						
学習内容	学習項目（時間数）			合格基準			
	1. 鉛筆デッサン— ペンを持った手 (1)			鉛筆で明暗をつけ、手の立体感と質感を表現する。 2つの異なる物質を表現する際には、質感や大きさなどが相互に関わりあうことを知る。 学習・教育目標 (A-1)			
	2. 記憶の絵地図 (5) 着彩			自分がすごした幼児期・年少期を思い出し、他の人が見てわかりやすい表現をする。 自宅周辺をあらゆる絵画表現方法を使って、分かりやすく楽しい絵地図として表現する。 (A-1)			
	3. 構成と表現 (1) 色彩の学習 (1) (2) 「楽しい」と「悲しい」の表現 (3) 着彩 (3) 「寒い」と「暖かい」の表現 (5) 着彩 (4) 「軽い」と「重い」の表現 (6) 着彩			色の知覚・心理的効果を学習して、効果的な色彩表現を学ぶ。 枠の中に着色できる。混色ができる。 比較することで観念的でないイメージを膨らませる。 形と色によって、言葉で表現できない表現が可能であることを認識する。 (A-1)			
4. 精密描写 (9) 鉛筆デッサン, 着彩			身近にある工業製品の精密描写を試みることで機能美、材質の特性、ロゴマーク、配色などを学習し、立体的な表現が出来る。 デッサンをして立体感のある表現をする。 何度も塗り重ねる透明水彩の技法を習得する。 (A-1)				
評価方法	自己のイメージをどのように豊かに表現出来ているか。 学習内容の全実技作品を時間数の割合で点数化して評価 (90%) (作品が授業時数に相応しい内容で完成。60%)、制作態度(10%)を考慮して総合的に評価する。						
履修条件	特になし						
関連科目	芸術Ⅰ(美術) (1年) → 芸術Ⅱ(美術) (2年)						
教材	スケッチブックと絵の具(アクリルガッシュ)を購入。(2年間使用)						
備考	自主的に美術館・ギャラリーなどの鑑賞を奨励。鑑賞レポートは随時受け付け、評価の対象にします。単位追認は、未提出・未完成の作品を全て完成させて提出する。						